

ケッティーのFX講座

第8回

Wボトム(トリプルボトム)

Wトップ(トリプルトップ)

ヘッド&ショルダー

からのエントリーパターン

By ケッティー

注意事項

■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的:

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項:

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、この書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償:

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除:

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲:

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

トレンド転換狙いの手法とはどんなものか？

- トrend転換はいわゆるマーケットの天井圏や底値圏から直近の流れが変わる変わり目＝転換点を狙ったトレードを指します。
- 直近の流れと真逆の動きを狙うので、エントリーのタイミングはあくまで水平線やチャート形状を重視してエントリーしていく。
- 週足、日足、4時間足のサポート、レジスタンスラインはトレンド転換を想定する目安となるので、長期足のサポレジはしっかりと意識して仕掛けていく事。
- 大きな節目に値が位置していないような状況ではあまり狙わないことが大切。
- トrend転換は多くの市場参加者がまだ判断に迷っている所を出し抜いて仕掛けていくスタイルの手法である。

Wボトム・Wトップとは？

Wボトム・Wトップとは？

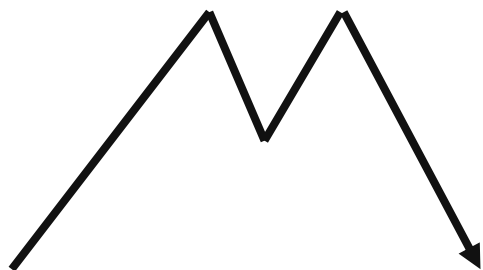
トレンド発生後、トレンド転換を示す値動きの王道サイン。特に長期足でこの二つの形が形成されるときは、トレンドの転換のサインを示すポイントとなり、値動きの天底で現れる。またトリプルボトム・トリプルトップと言って、2回の山や谷ではなく、3回の山や谷を作ってトレンド転換をする場合もある。



Wボトム



トリプルボトム



Wトップ



トリプルトップ

Wボトム（トリプルボトム）でのエントリーポイント、 損切り、利確の置き方、エントリーシナリオの立て方

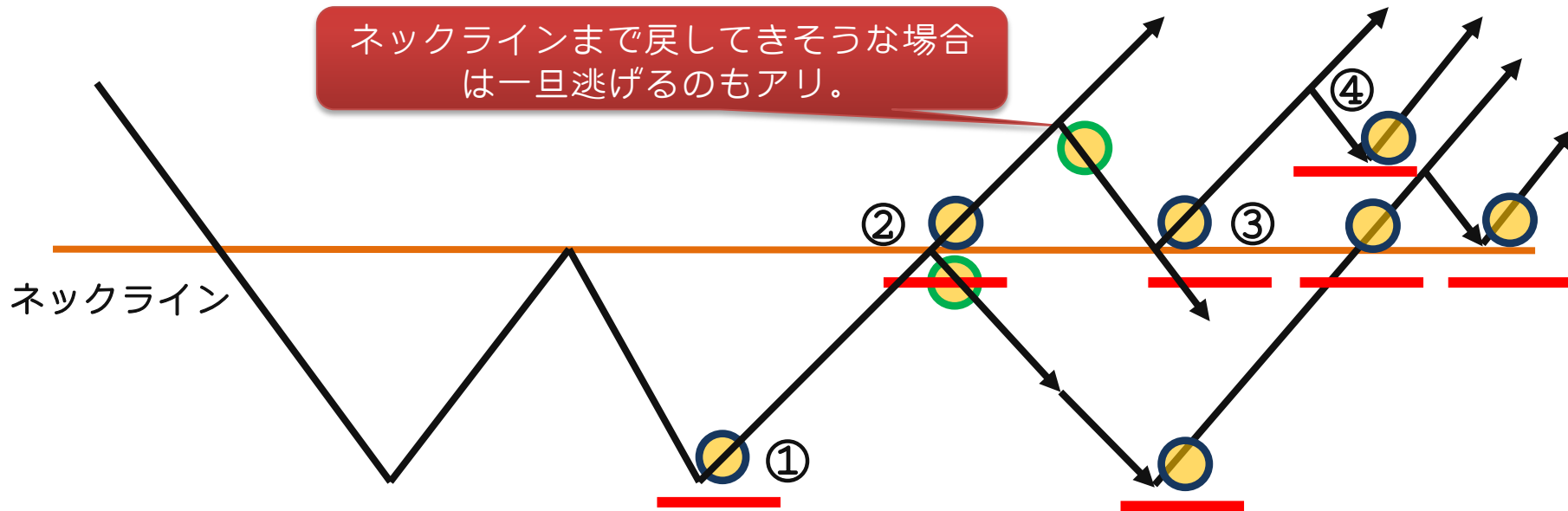
Wボトム（トリプルボトム）

● = 買いエントリー
● = イグジット

— = 損切り

利確タイミングは長期足のレジスタンスライン、または順張りでの利確タイミングを使う
($B B + 2 \sigma$ からはみ出た所もしくは $+ 2 \sigma$ の内側に入った所、MA下割れ)

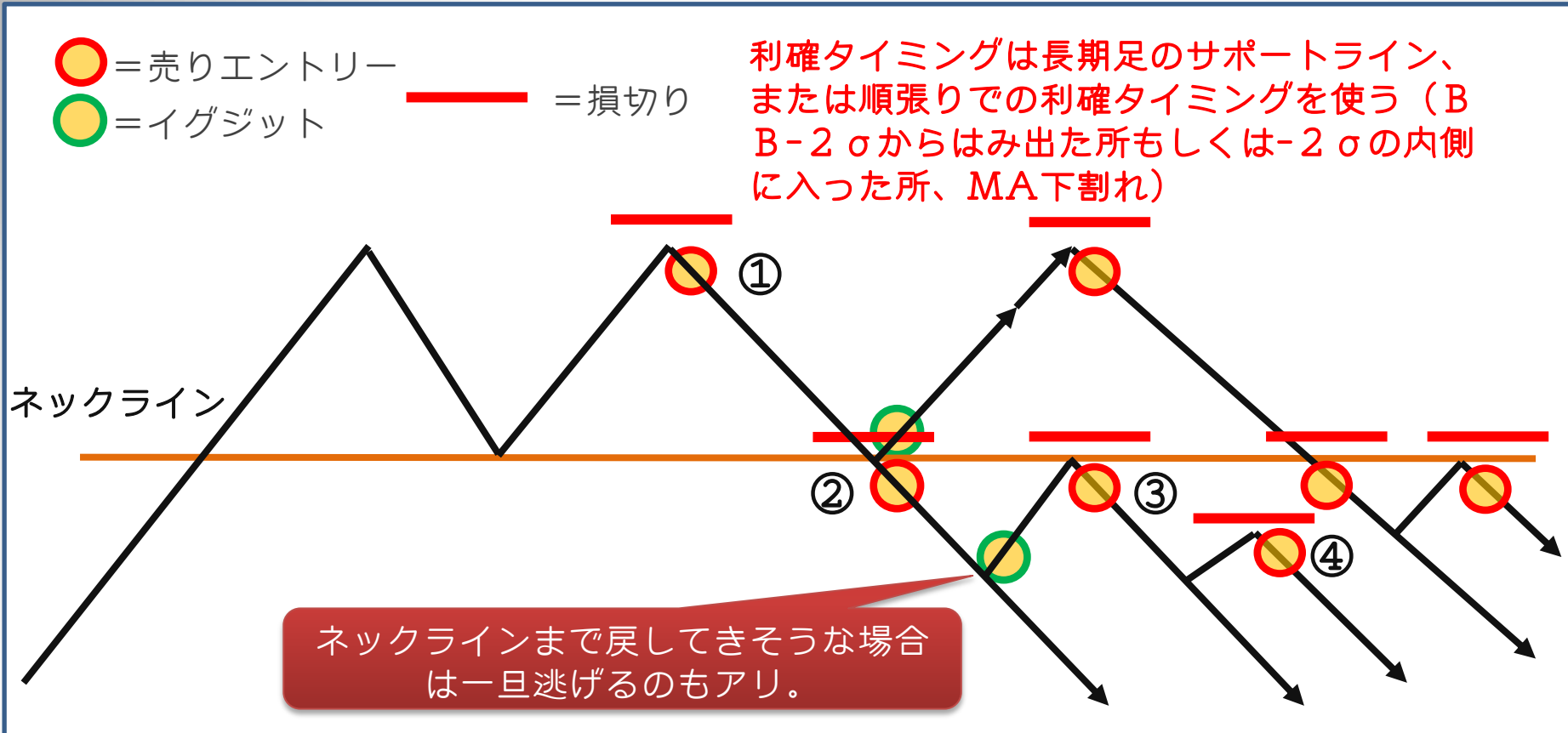
ネックラインまで戻してきそうな場合は一旦逃げるのもアリ。



- ・ ①のエントリーはWボトム形成過程なので上級者向け。起こるであろうWボトムを見越してエントリーを仕掛けるので、逆行したら即損切りを忘れない事。
- ・ ②はダマシに会いやすく、建値まで戻ってくると分かってエントリーする場面。
第1波になるので見送るのが無難な場面となる。
- ・ ③はレジサポ転換になって上昇する場面もしくは第2波となり一番安全なエントリー場面となる。
- ・ ④は第3波。大きくトレンドを取れるところではないが、通常の順張りでエントリーする場面となる。

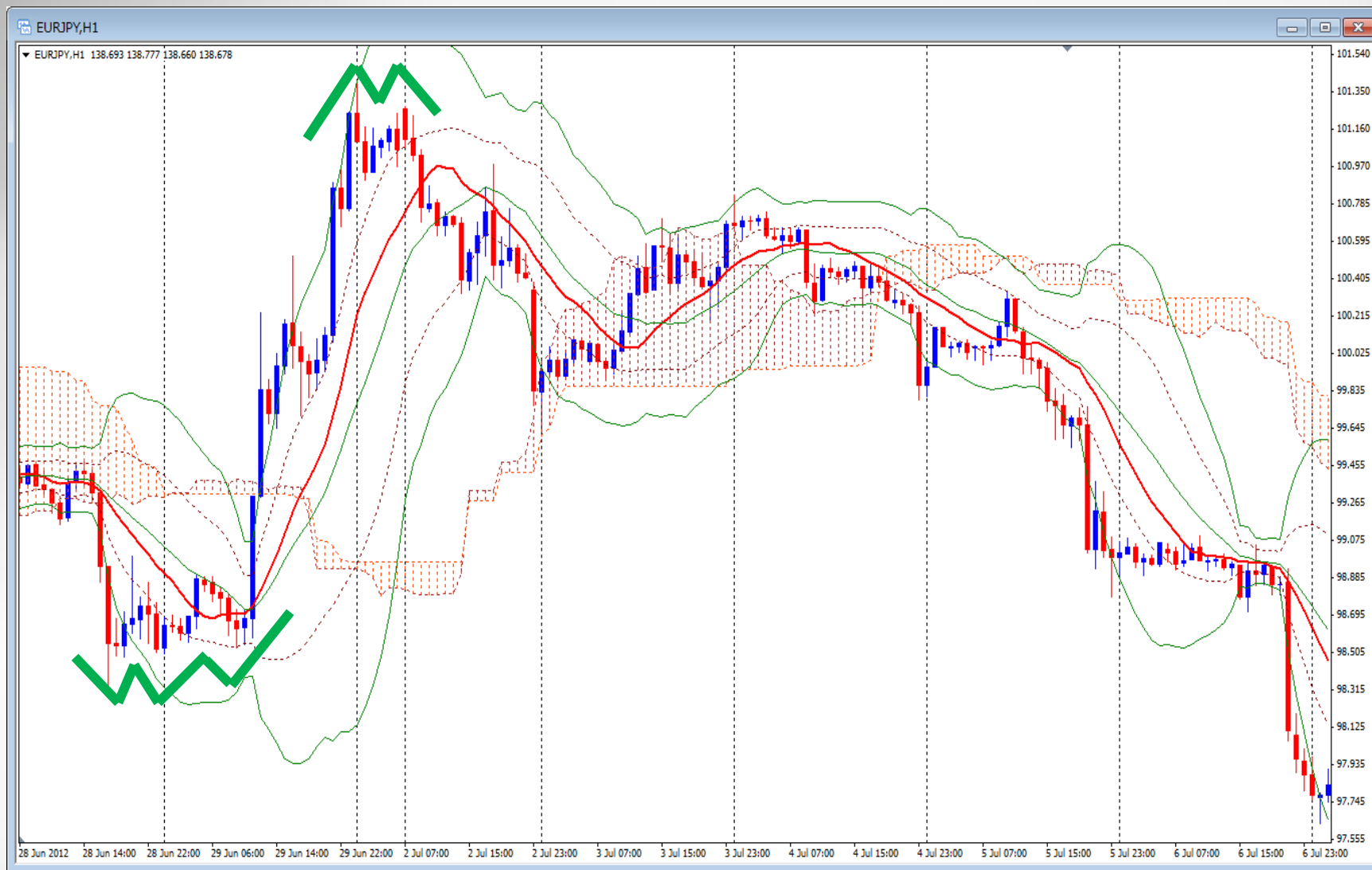
Wトップ（トリプルトップ）でのエントリーポイント、 損切り、利確の置き方、エントリーシナリオの立て方

Wトップ（トリプルトップ）

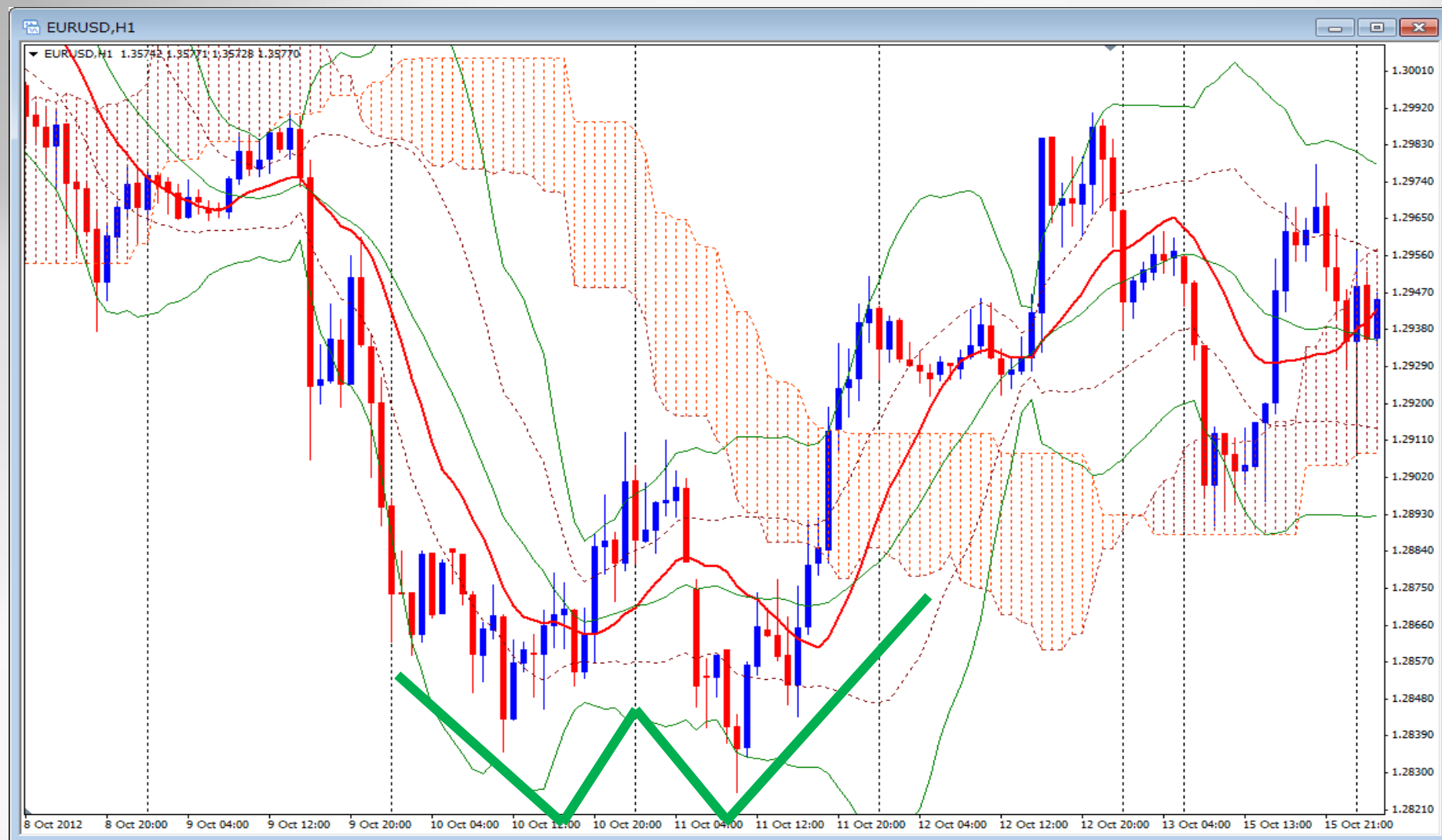


- ・ ①のエントリーはWトップ形成過程なので上級者向け。起こるであろうWトップを見越してエントリーを仕掛けるので、逆行したら即損切りを忘れない事。
- ・ ②はダマシに会いやすく、建値まで戻ってくると分かってエントリーする場面。
第1波になるので見送るのが無難な場面となる。
- ・ ③はサポレジ転換になって下降する場面もしくは第2波となり一番安全なエントリー場面となる。
- ・ ④は第3波。大きくトレンドを取れるところではないが、通常の順張りでエントリーする場面となる。

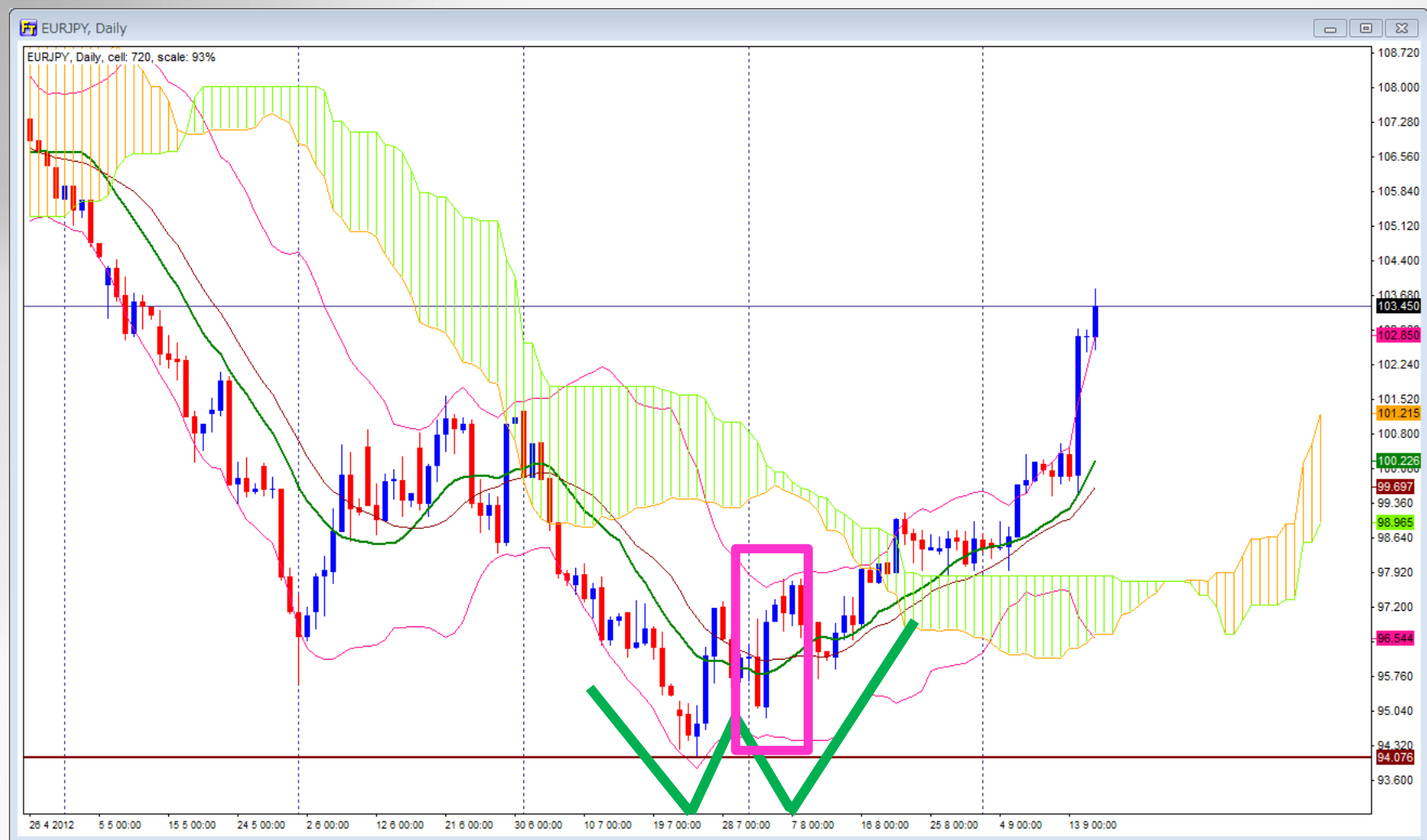
Wボトム・トップ、トリプルボトム・トップの例を見てみよう①



Wボトム・トップ、トリプルボトム・トップの例を見てみよう②



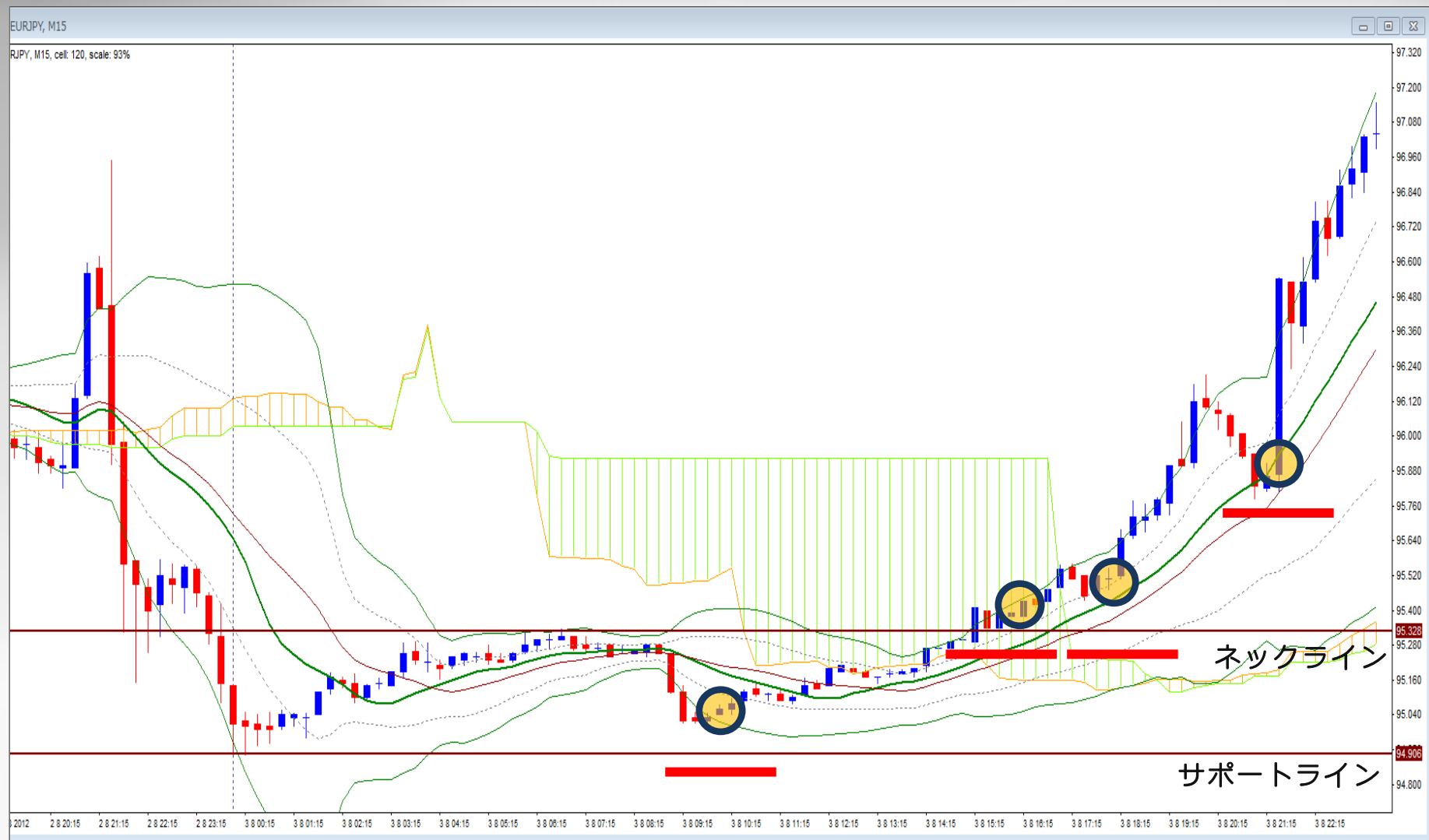
Wボトムエントリー例①日足の相場状況



Wボトムエントリー例① 1 H足・15 分足の相場状況



Wボトムエントリー例① 15分足でのエントリータイミング



【考察】 ヘッド&ショルダー、逆ヘッド&ショルダー

ヘッド&ショルダー（別名三尊天井）、逆ヘッド&ショルダー（三尊底）とは？

3トップとは少し違い、三尊天井は真ん中の山が一番高く切りあがって形成されるチャートパターン。三尊底は真ん中の谷が一番低く切り下がっている形となる。

なかなか出現しないチャートパターンだが、この形が出たらかなりの確率でトレンド転換をするので、ぜひ覚えておきたいパターンの一つである。

また、このパターンは週足、日足などで起こる時の方より精度が増すので、日足以上のサインは見逃さないようにすること。



三尊天井



三尊底



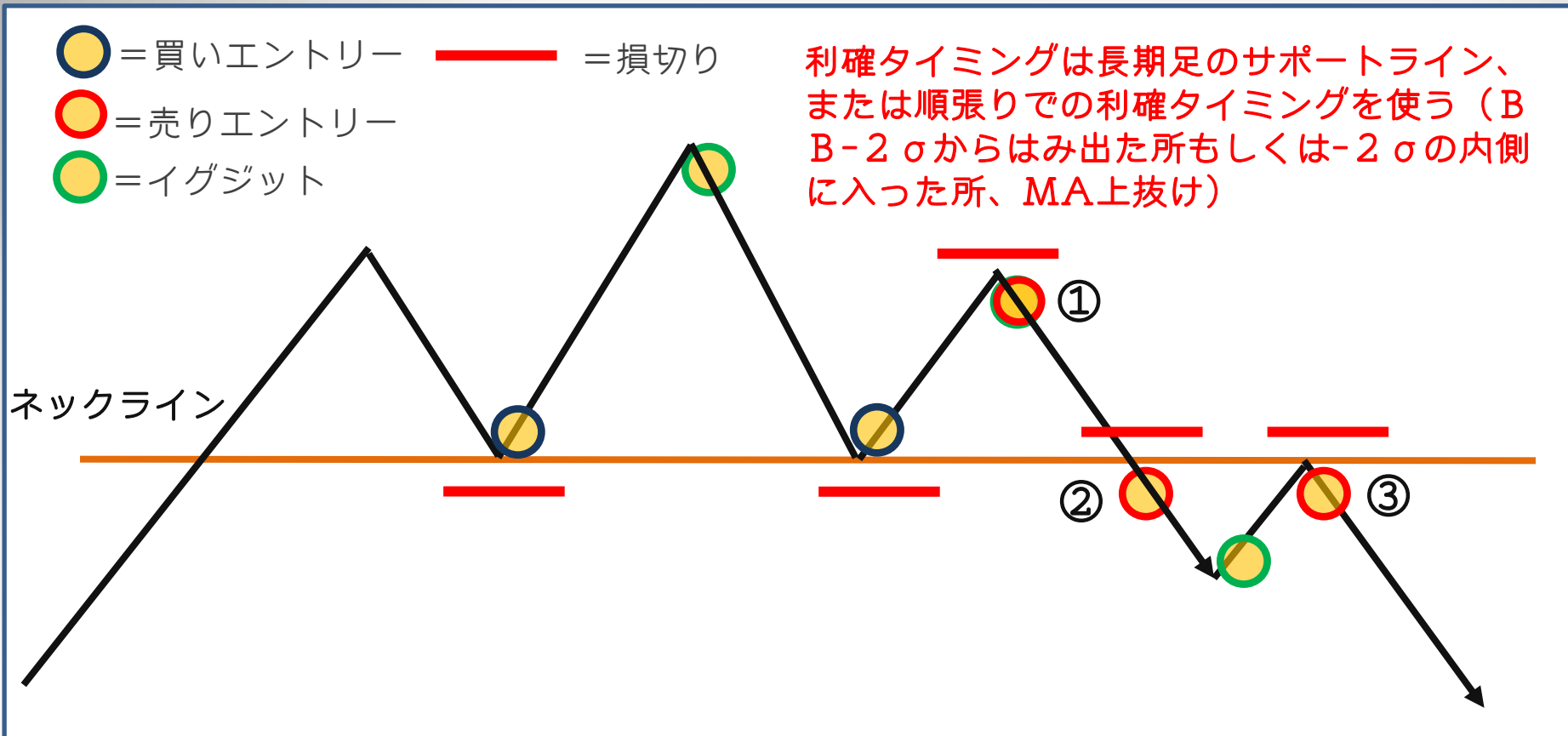
トリプルトップ



トリプルボトム

ヘッド&ショルダー（三尊天井）でのエントリーポイント、 損切り、利確の置き方、エントリーシナリオの立て方

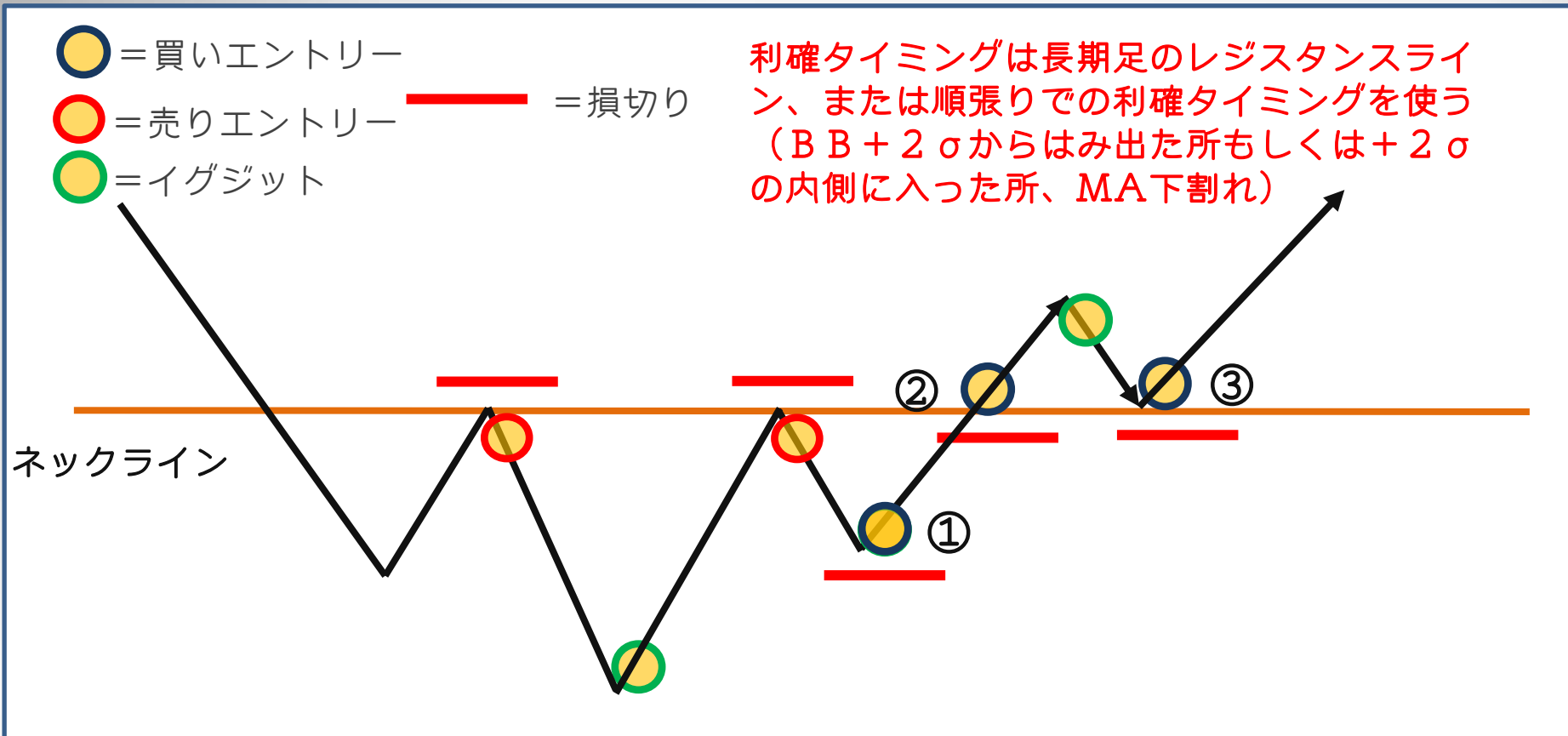
三尊天井



- ・ ①のエントリーはH & S 形成過程なので上級者向け。起こるであろうH & Sを見越してエントリーを仕掛けるので、逆行したら即損切りを忘れない事。ネックラインをブレイクしたらポジションを維持する。
- ・ ②はダマシに会いやすく、建値まで戻ってくると分かってエントリーする場面。第1波になるので見送るのが無難な場面となる。但し勢いがある相場では戻ってこない場合もあるので飛び乗る時も必要。
- ・ ③はサポレジ転換になって下降する場面もしくは第2波となり一番安全なエントリー場面となる。

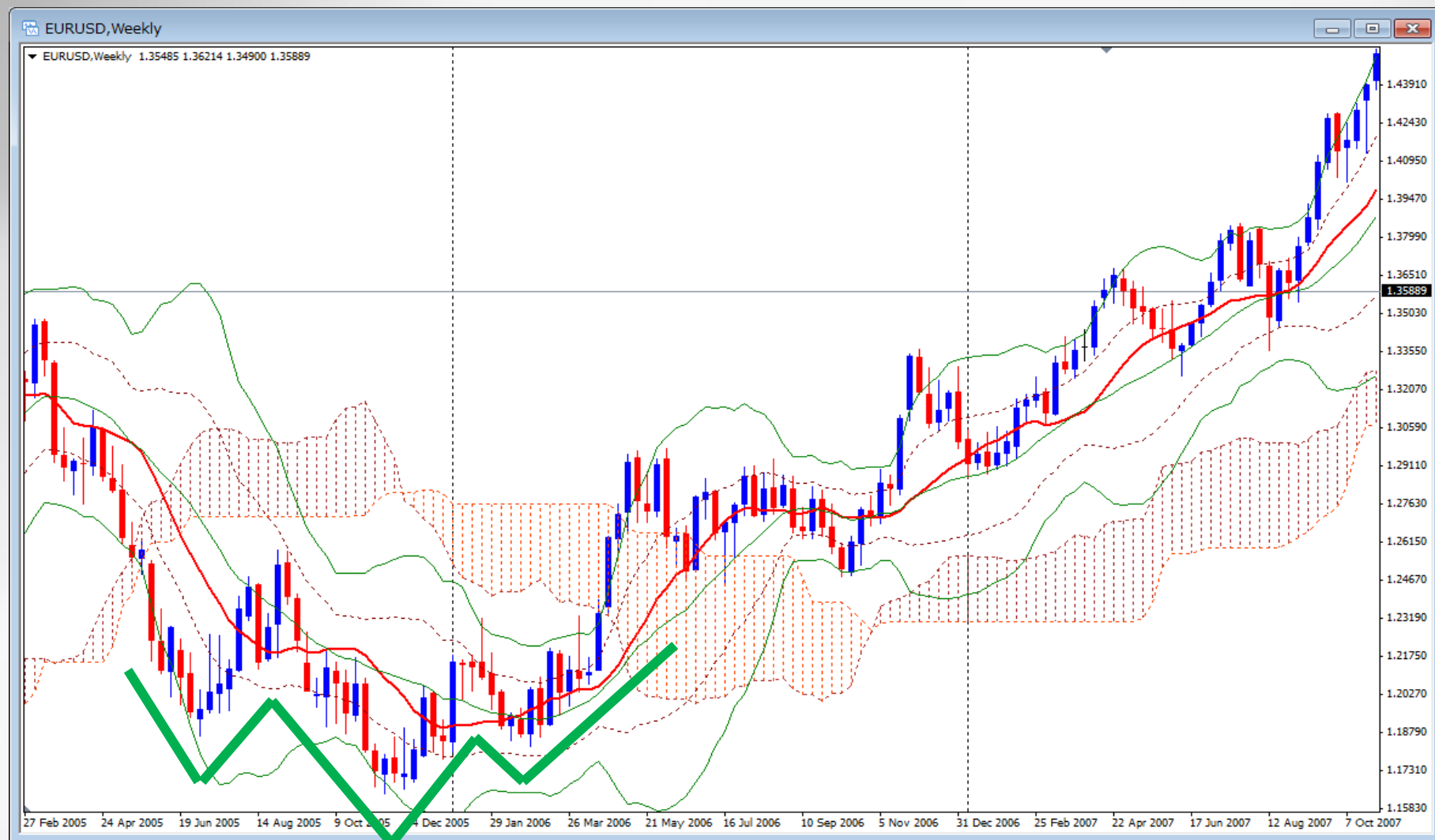
逆ヘッド&ショルダー（三尊底）でのエントリーポイント、 損切り、利確の置き方、エントリーシナリオの立て方

逆ヘッド&ショルダー（三尊底）

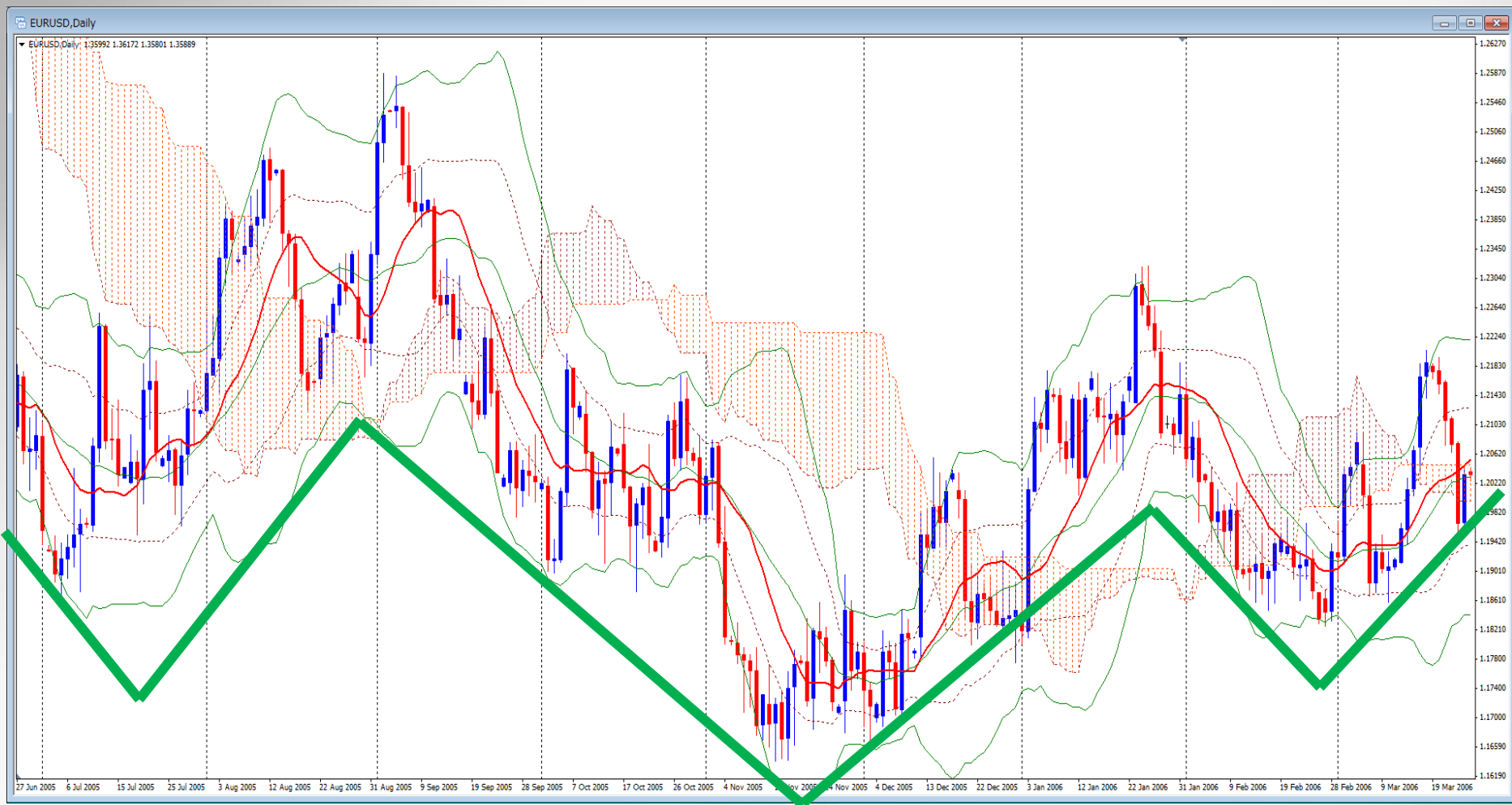


- ・ ①のエントリーは逆H&S形成過程なので上級者向け。起こるであろう逆H&Sを見越してエントリーを仕掛けるので、逆行したら即損切りを忘れない事。ネックラインをブレイクしたらポジションを維持する。
- ・ ②はダマシに会いやすく、建値まで戻ってくると分かってエントリーする場面。第1波になるので見送るのが無難な場面となる。但し勢いがある相場では戻ってこない場合もあるので飛び乗る時も必要。
- ・ ③はレジサポ転換になって上昇する場面もしくは第2波となり一番安全なエントリー場面となる。

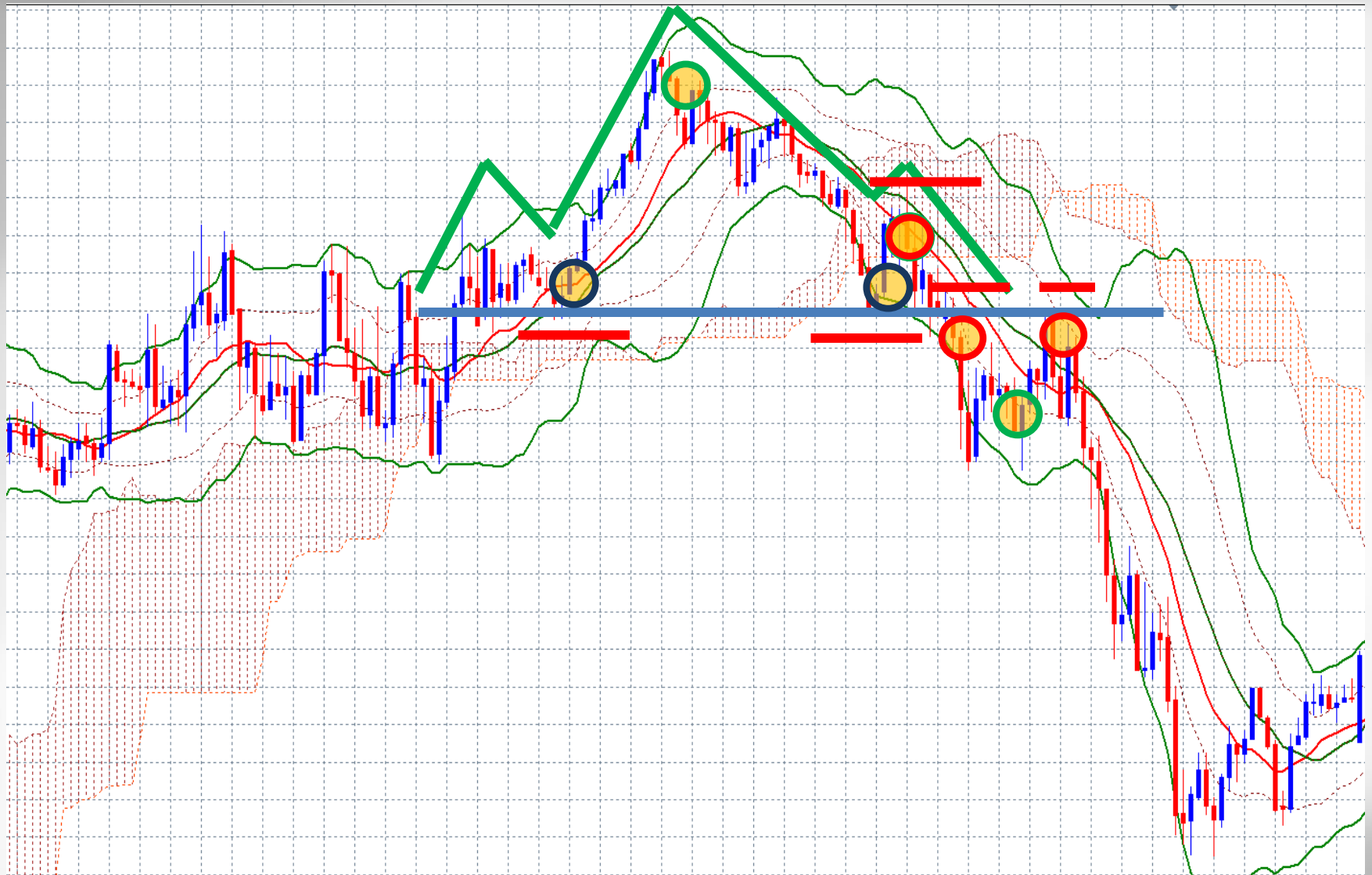
三尊底の例を見てみよう～週足～



三尊底の例を見てみよう～日足～



三尊天井のエントリー例



Wトップ・ボトム、3トップ・ボトム、H&Sの エントリーが有効に働く相場環境と注意点

- ①今回のエントリー手法はトレンド転換を狙ったものであるので、週足、日足、4時間足レベルで水平線を引いた時に、高値圏や安値圏の天底で仕掛けていくこと。
- ②大きくトレンドが転換する場面なので、数時間、数日間揉みあってから転換していく傾向があるので、きちんと転換していくか様子を見てから仕掛けるようにする。
- ③エントリータイミングはあくまでラインと形状重視。特に短期足でのインディケーターに惑わされずにライン付近でしっかり乗れるようにする。
- ④トレンド発生中に順張りで乗るのは、いわば多数派の後ろについてトレードをするイメージだが、トレンド転換でのトレードは市場参加者の心理を出し抜き、周りよりちょっと早く仕掛ける事が大切。この相場の転換点をしっかり見つけて仕掛けていくこそが、トレンド転換の醍醐味である。
- ⑤大きなリターンが見込まれるが、転換の初動でのエントリーは勝率は高くない。勝率を上げるためにはしっかりと長期足の分析が必要になるのでここは怠らないこと。こういった時にトレンド転換が起こるかを過去検証で体に染み込ませましょう。

**じっくり待つが、その時が来たら迷わずエントリーし、誰よりも早く美味しいポイントで
エントリーすることを意識すること!**